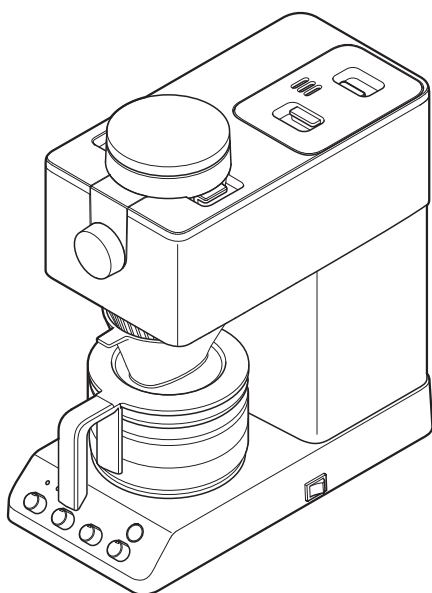


全自動コーヒーメーカー CM-D457 取扱説明書

家庭用



- このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
- この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。
- この製品は一般家庭用です。業務用などにご使用にならないでください。

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。必ず記入を受けてください。

感動をデザインします
TWINBIRD



1	安全上のご注意
3	各部の名称とはたらき
5	使いかた
13	こんなときは
14	お手入れのしかた
16	簡単操作ガイド
17	アフターサービス
18	仕様

安全上のご注意

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

● 表示の説明



警告

「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

「傷害を負うまたは物的損害が発生することが想定される」内容です。

● 図記号の説明



は、してはいけない「禁止」の内容です。



は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告



禁止 絶対に分解したり修理・改造は行わない。

発火・感電・異常動作によるけがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店またはお客様サービス係にご相談ください。



禁止 本体を水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電の恐れがあります。



禁止 不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない。

畳・じゅうたん・テーブルクロス・プラスチックの置き台などの上で使用しない。
火災の原因になります。



強制 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使用する。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
また、火災・感電の原因になります。



禁止 製品の隙間や穴に金属製の物（ナイフ・フォークなど）を中に入れない。

やけどや感電、故障の恐れがあります。



禁止 子供など取扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児に触れさせたり、手が届くところで使用しない。

やけどや感電、けがの恐れがあり危険です。



禁止 電源プラグに異物やゴミを付着させない。

感電・ショート・発火の原因になります。



強制 電源プラグは根元まで確実に差し込む。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しない。

差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



強制 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く。

<異常・故障例>

- ・電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。
- ・電源コードに傷が付いていたり、触れると通電したりしなかったりする。

発煙・発火・感電・けがの原因になります。
販売店に点検・修理を依頼してください。



禁止 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。

物を載せたり、挟み込んだりしない。
感電・漏電火災の原因になります。



禁止 電源プラグはぬれた手で抜き差ししない。

感電の原因になります。



禁止 火気（コンロ・ストーブ）などの近くや水・油のかかるところで使わない。

火災や故障の原因になります。



禁止 壁や家具の近くで使用しない。

熱で壁や家具を傷め、壁や家具の変色、変形の原因になります。



禁止 ガラスサーバー、ドリッパーなしで使わない。

やけどの原因になります。



禁止 ガラスサーバーのハンドルががたついたり緩んだ状態で使わない。

やけどの原因になります。



禁止 ガラスサーバー、ドリッパーを本体にセットしたまま、本体を動かさない。

やけどやけが、ガラスサーバー、ドリッパー破損の原因になります。



禁止 使用直後の熱い保温板の上に電源コードをのせない。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

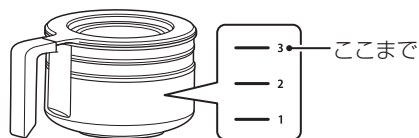
警告

禁止 ガラスサーバーを直接火にかけたり、電子レンジで加熱したり、傷つけたり（金属製・ナイロン製のたわしやみがき粉のお手入れを含む。）、無理な力をかけたり、硬いものにぶつけたり、急激に冷したりしない。破損やけがの原因になります。割れや欠けが発生したらすぐに使用を中止してください。

禁止 ガラスサーバーを抜いたとき、保温板にさわらない。やけどの原因になります。

禁止 蒸気口に触ったり、顔や手を近づけない。やけどの原因になります。

禁止 水タンクにガラスサーバーの3CUP（450ml）を超える水を入れない。湯がこぼれてやけどの恐れがあります。



禁止 電源コードが通行や動作の妨げになるような場所で使用しない。電源コードが引っかかり、製品が落下して、けがや故障の原因になります。

禁止 動作中に水タンクふたを開けたり、水を追加しない。やけどや故障、誤動作の原因になります。

注意

禁止 水がかかりやすい場所や底部がぬれるような所に置いて使用しない。ショート・感電・故障の原因になります。

強制 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

禁止 直射日光が長時間あたる場所で使わない。故障の原因になります。

強制 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。感電やショートして発火することがあります。

禁止 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。感電・ショート・発火の原因になります。

強制 お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。感電やショートして発火することがあります。

強制 お手入れは使用後、30分以上放置し本体が冷めてから行う。高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

禁止 水タンクに水以外のものを入れない。（熱湯、牛乳、コーヒー、アルカリイオン水など）故障やふきこぼれの原因になります。

禁止 ミルにコーヒー豆以外のものや生豆を入れない。故障の原因になります。

禁止 水なしで空運転、ミルの連続運転をしない。故障の原因になります。

禁止 製品にふきんなどをかぶせない。変形や故障の原因になります。

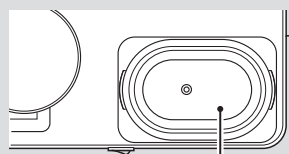
禁止 ミルのお手入れは、必ず付属のお手入れブラシを使用し、刃に手を触れない。けがや故障の原因になります。

禁止 動作中にドリッパーに手を触れない。不意にお湯が出てやけどの原因になります。

禁止 ミルのねじをはずしての分解・清掃はしない。ミル破損の恐れがあります。

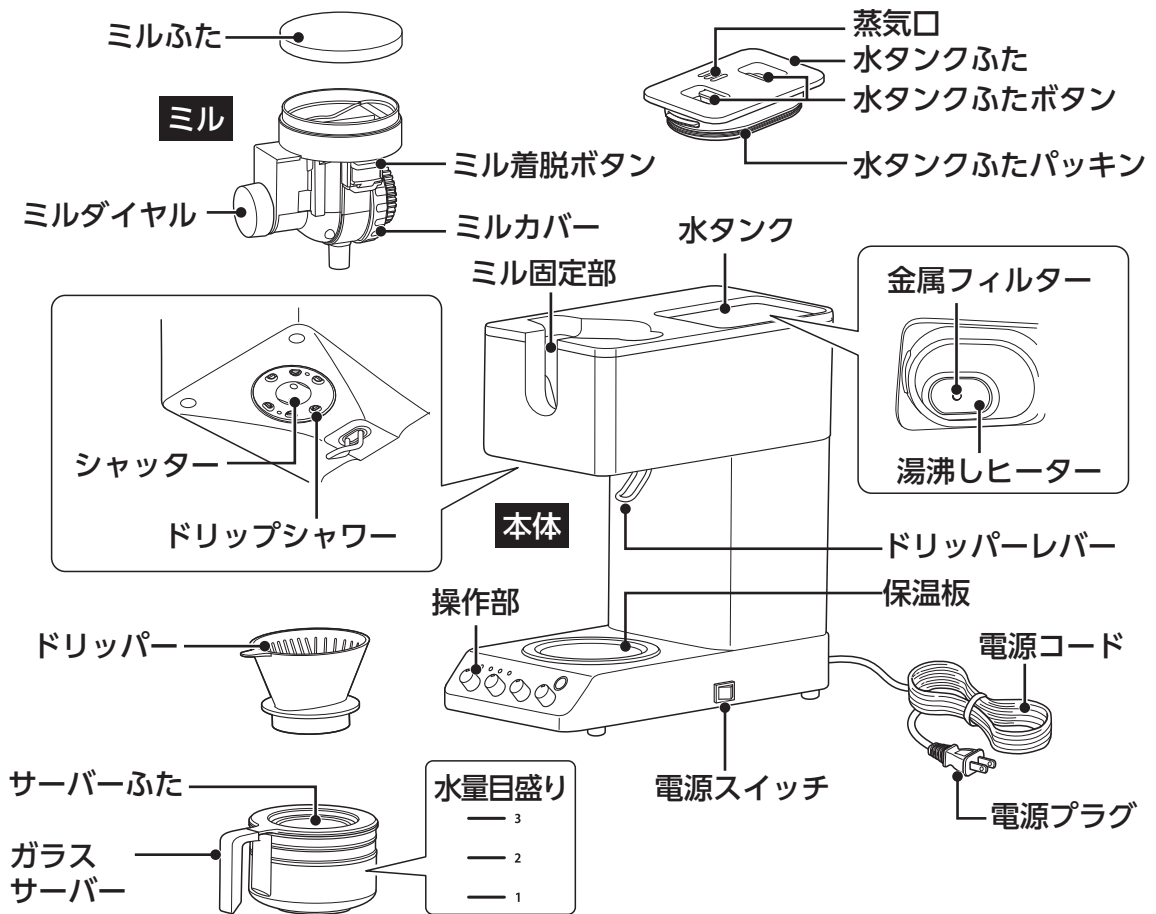
■ 水タンクについて

ステンレス板に焦げたような模様ができる場合がありますが、内蔵のヒーターに沿ってできるもので、腐食や汚れなどの異常ではありません。



ステンレス板

各部の名称とはたらき



付属品



ペーパーフィルター
…5枚

サイズ「102」
(市販の「1×2」
または「2～4カップ
用」も使用できます。)



お手入れブラシ
…1個



計量カップ…1個

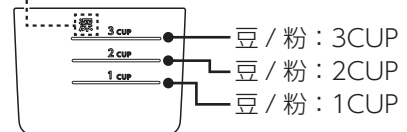
<計量について>

コーヒー豆 / 粉の分量をはかります。

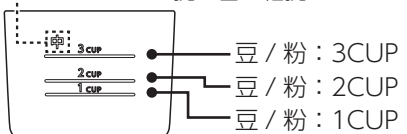
- 「深」：深煎り
- 「中」：中深煎りでコクを増すとき
- 「浅」：浅煎り / 中煎り / 中深煎り

- ・豆の煎りかたによっておすすめの分量が違います。
- ・豆の煎りかたに合わせた挽きかたでお楽しみください。
- ・目盛りは目安です。計量器（はかり）ではかることを推奨します。→ 5 ページ

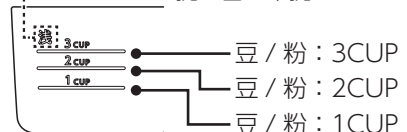
目盛 **深** 深煎りのコーヒー豆 / 粉の分量をはかります。
おすすめの挽き目：細挽き



目盛 **中** 中深煎りでコクを増したいときのコーヒー豆 / 粉の分量をはかります。
おすすめの挽き目：細挽き

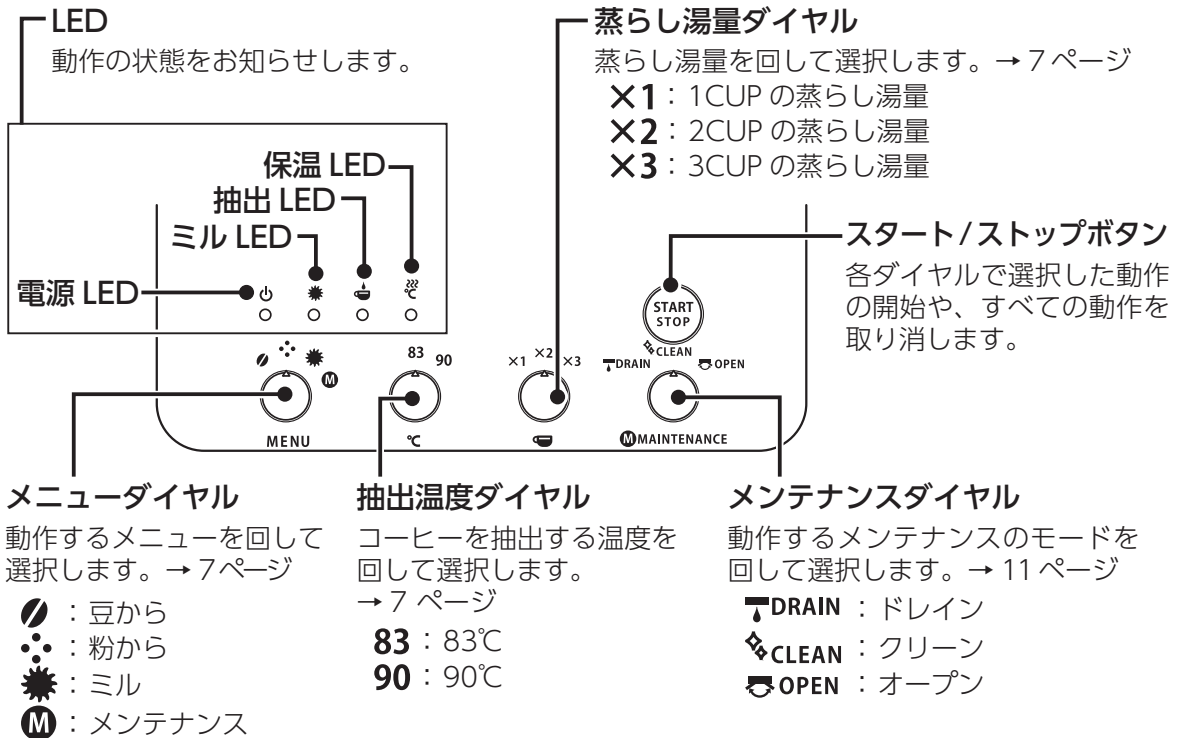


目盛 **浅** 浅煎りと中煎り / 中深煎りのコーヒー豆 / 粉の分量をはかります。
おすすめの挽き目：中挽き



各部の名称とはたらき

操作部

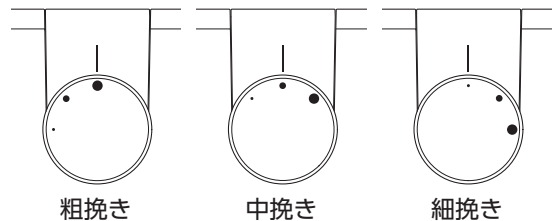


ミルダイヤル

コーヒー豆の挽き目を回して選択します。
ミルダイヤルを右に回すと細挽き、左に回すと粗挽きになります。

お知らせ

ミルダイヤルは粗挽き、中挽き、細挽きの間では設定できません。中間で設定すると動作時にミルダイヤルが回り、挽き目が不均一になります。



ご使用前に

初めてお使いになるときや長期間お使いにならなかったときは、次のように洗浄してください。

- ① ドリッパー、サーバーふた、ガラスサーバーをやわらかいスポンジで食器用中性洗剤を使用し洗います。
- ② ガラスサーバーで3CUP分の水を計量して水タンクに入れます。
- ③ ドリッパー、サーバーふた、ガラスサーバーを本体にセットします。
- ④ 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを入れます。
- ⑤ メニューダイヤルを粉からに合わせ、スタート/ストップボタンを押します。
- ⑥ お湯が落ちきって、保温LEDが点灯になるまで待ちます。
- ⑦ スタート/ストップボタンを押して保温を切り、ガラスサーバーのお湯を捨てます。

※ 上記操作後は②～⑦を1～2回繰り返してください。

使いかた

■ コーヒーをいれる準備手順

コーヒーは同じ豆でも豆の鮮度や挽きかた、抽出温度、ペーパーフィルターの違いによっても味わいが違ってきます。表を目安に調整してください。

煎りの深さ		浅煎り・中煎り	中深煎り		深煎り	
挽きかた		中挽き	中挽き	細挽き ^{※4}	細挽き ^{※4}	細挽き ^{※4}
仕上り		標準	標準 ^{※1}	コク	標準	アイス
抽出温度 ^{※3}		83℃	83℃	83℃	83℃	90℃
計量カップ目安目盛り		浅	浅	中	深	深
コーヒー豆 ／粉の量 ^{※2}	1CUP (150ml)	約 16 g	約 16 g	約 16 g	約 18 g	約 18 g/水量:120ml ^{※5}
	2CUP (300ml)	約 24 g	約 24 g	約 22 g	約 26 g	約 26 g/水量:240ml ^{※5}
	3CUP (450ml)	約 34 g	約 34 g	約 32 g	約 34~36 g	約 34~36 g/水量:360ml ^{※5}

※1 中深煎りの豆を標準でいれる場合は、浅煎りの目盛りを目安に計量してください。

※2 ガラスサーバー、計量カップの目盛りは目安になります。計量器（はかり）ではかることを推奨します。

※3 抽出温度は、83℃を推奨します。ただし、熱めの仕上がりを好む場合やアイスコーヒーをいれる場合は90℃でいれてください。

一般的に、抽出温度が高いと苦味が強くなり、低いと酸味が強くなる傾向があります。

※4 細挽きで豆量が36gを超えると、ドリップ中に溢れる可能性がありますのでご注意ください。

※5 アイスコーヒーの水量はガラスサーバーでははかれません。お手持ちの計量カップをご利用ください。

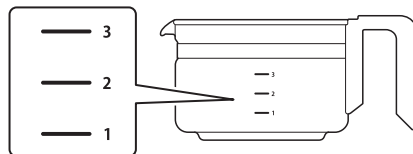
1 水タンクに水を入れます。

① 水タンクふたボタンを押しながら水タンクふたを上に取り上げてはずします。

② ガラスサーバーでカップ数に応じた水を計量し、水タンクに水を入れてください。

お知らせ

水タンクに入れた水は全て抽出されます。
水量は必ず計量器（はかり）、またはガラスサーバーではかり、水タンクに入れてください。
水が多いとコーヒーが薄くできあがります。



お願い

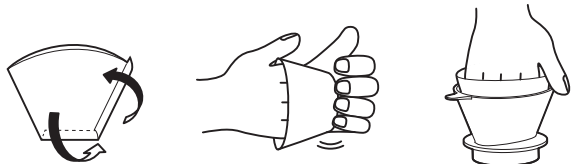
- 40℃以上のお湯は入れないでください。
- 3CUP (450ml) を超える水を入れないでください。
- ガラスサーバーはよくすすいでから水量を計り、水タンクに注いでください。ガラスサーバーに付着したコーヒー粉などの異物が入ると水路が詰まり故障の原因になります。水タンク内に異物がないかご確認ください。

③ 水タンクふたを上から押して本体にしっかりとセットします。

2 ペーパーフィルターをドリッパーにセットします。

ペーパーフィルターの側面を折り、次に底の部分を側面と逆の方向に折ります。側面や底の角を指でならし、ドリッパーにフィットする形にします。

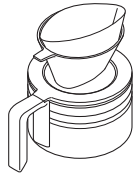
ペーパーフィルターは市販の「1×2」、「102」または「2～4カップ用」を使用してください。



3

ガラスサーバーにドリッパーをセットします。

ガラスサーバーにサーバーふたをセットし、ドリッパーをサーバーふたにセットします。

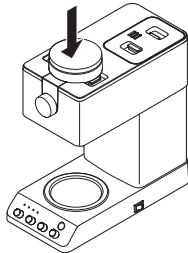


お願い 必ず、専用のドリッパーとガラスサーバーを使用してください。

4

本体にミルをセットします。

"カチッ"と音がするまでミルを本体に押し込みます。



お願い ミルカバーはミル本体との間に隙間がないようにしっかりと回して閉めてください。

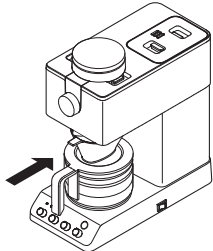
5

コーヒー豆／粉を入れます。

① 計量カップでカップ数と豆の煎りかたに応じたコーヒー豆／粉を計量します。

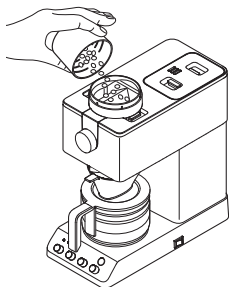
〈豆から抽出するとき〉

② ドリッパーとガラスサーバーを本体に差し込みます。



お願い 強く差し込まないでください。ドリッパーレバーが強く押されて、故障の原因になります。

③ ミルふたを開けてコーヒー豆を入れます。



注意 生豆を入れない。故障の原因になります。

お知らせ 入れたコーヒー豆は1度の動作で全て挽きます。

④ ミルふたを閉めます。

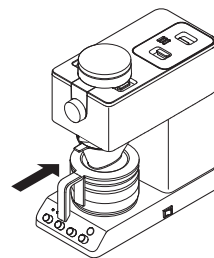
〈粉から抽出するとき〉

② ペーパーフィルターにコーヒー粉を入れます。



お願い コーヒー粉はミルに入れないでください。故障の原因になります。

③ ドリッパーとガラスサーバーを本体に差し込みます。



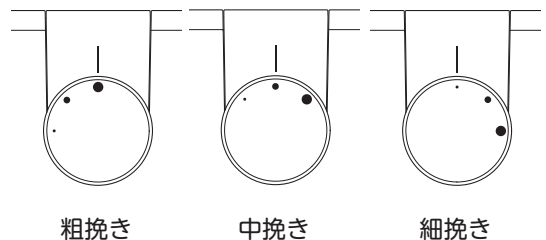
お願い 強く差し込まないでください。ドリッパーレバーが強く押されて、故障の原因になります。

6

挽き目を選択します。

① 粉から抽出するときは不要です。ミルダイヤルを右に回すと細挽き、左に回すと粗挽きになります。

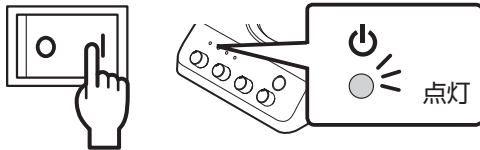
お知らせ ミルダイヤルは粗挽き、中挽き、細挽きの中間では設定できません。中間で設定すると動作時にミルダイヤルが回り、挽き目が不均一になります。



■ コーヒーをいれる操作手順

LEDは通常、白く点灯または点滅しますが、誤操作や異常時はいずれかのLEDが赤・緑・オレンジに点灯または点滅します。そのときは、13ページの「こんなときは」をご確認ください。

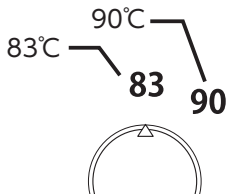
- 1** 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをONにします。
電源LEDが点灯します。



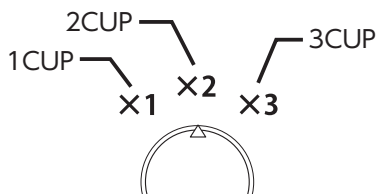
- 2** メニューダイヤルで、豆からまたは粉からを選択します。



- 3** 抽出温度ダイヤルで、83℃または90℃を選択します。



- 4** 蒸らし湯量ダイヤルで、1CUP、2CUP、3CUPを選択します。
水タンクに入れた水の量、ミルクに入れた豆、またはドリッパーに入れた粉の量に応じて選択してください。



お知らせ

蒸らし湯量の調整ダイヤルです。抽出するカップ数に応じて蒸らし湯量を調整します。できあがり抽出量の調整ダイヤルではありません。水タンクに入れた水は全て抽出されます。

お願い

蒸らし湯量ダイヤルは、必ず水タンクに入れた水量のカップ数に合わせてください。水量と蒸らし湯量ダイヤルで選択したカップ数が合っていないと正しい抽出温度になりません。

5 スタート/ストップボタンを押して動作を開始します。

① "ピッ"と音が鳴り動作を開始します。






- ミルLEDが赤く点滅したら
本体にミルをしっかりとセットしてください。
- 抽出LEDが緑に点滅したら
ドリッパーを本体にセットしてください。
- ミルLED、抽出LED、保温LEDが全て点滅したら
ミル部の異常検知機能が働いています。
13ページ「こんなときは」の"LEDのお知らせ④"をご確認ください。
- 保温LEDがオレンジに点滅したら
水タンクの空焚き検知機能が働いています。
13ページの「こんなときは」の"LEDのお知らせ③"をご確認ください。

② 動作の状態をLEDでお知らせします。

抽出後は"ピピッ"と音が鳴り自動的に20分間保温します。

保温中は保温LEDが白く点灯します。

	ミル	抽出	保温
LED	 白く点滅	 白く点滅	 白く点灯
豆から	ミル + 湯沸し	蒸らし	抽出
粉から	湯沸し	蒸らし	抽出

お知らせ

- 保温前の動作中にドリッパーを本体からはずすと抽出LEDが緑に点滅し動作を自動で停止します。
再開する場合⇒ドリッパーを本体に戻してください。
再開しない場合⇒電源スイッチをOFFにしてください。
- 抽出後、水タンクに微量の水が残ります。
- 動作中にスタート/ストップボタンを押すと動作を取り消して停止します。
- 室温、湿度、コーヒー豆の種類や状態によって、挽いたコーヒー豆が飛び散ったり本体に付着する場合があります。その場合はキッチンペーパーなどでふき取ってください。
- 使用するコーヒー豆により、ミルの動作時間が異なります。
- コーヒー豆を残さず挽き美味しいコーヒーとするため、コーヒー豆が挽き終わってもミルが動作している場合がありますが異常ではありません。最大5分で自動停止します。
- ミル動作およびお湯が沸いてからドリップを開始します。ミルの動作時間やお湯が沸くまでの時間により、出来上がりまでの時間は異なります。
- 室温が低い場合やコーヒー豆を冷蔵保存している場合は抽出されたコーヒーの温度が低くなる場合があります。その場合はコーヒー豆を室温にして、ガラスサーバーやコーヒーカップをあらかじめ温めてください。
- ミル動作中にミルダイヤルが振動しますが、異常ではありません。

6 コーヒーをカップに注ぎます。

保温する場合⇒20分間保温します。保温終了後は保温LEDが消灯します。

保温しない場合⇒スタート/ストップボタンを押して保温を切ります。

アイスコーヒーの場合⇒氷を入れたグラスに注ぎ、冷たく、おいしいコーヒーをお楽しみください。

お知らせ

ガラスサーバーの水量目盛りは水タンクに入れる水量目盛りです。抽出時、コーヒー粉の吸水によりコーヒーの抽出量はガラスサーバーの水量目盛りよりも少なくなります。



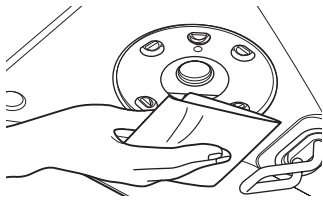
警告

- ガラスサーバーを抜いたとき、保温板にさわらない。やけどの原因になります。
- ガラスサーバーを直接火にかけたり、電子レンジで加熱をしない。破損やけがの原因になります。

7 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

8 ドリッパー、サーバーふた、ガラスサーバーを洗います。

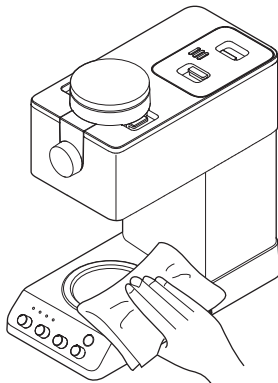
9 本体のドリップシャワー部の水滴、コーヒー粉をキッチンペーパーなどでふき取ります。



お知らせ

水滴やコーヒー粉がシャワー部に付着します。ご使用のたびにキッチンペーパーなどでふき取ってください。

10 保温板に水滴やコーヒー粉がある場合は、キッチンペーパーなどでふき取ります。

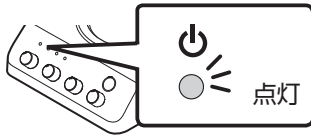


■ コーヒー豆を挽く操作手順

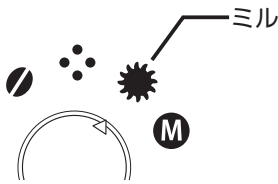
ハンドドリップでコーヒーをいれたいときに使うミルのみ動作の機能です。

- 1 **コーヒー豆を挽く準備をします。**
5・6ページの「コーヒーをいれる準備手順」の②、③、④、⑤〈豆から抽出するとき〉、⑥の順で準備します。

- 2 **電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをONにします。**
電源LEDが点灯します。



- 3 **メニューダイヤルで、ミルを選択します。**



- 4 **スタート/ストップボタンを押して動作を開始します。**

"ピッ"と音が鳴り、ミルLEDが点滅し動作を開始します。

コーヒー豆の量に関わらず、5分後に自動停止します。

ミル動作を停止したい場合は、スタート/ストップボタンをもう一度押してください。



お知らせ

- ミル動作中にドリッパーを本体から外すと抽出LEDが緑に点滅し動作を自動で停止します。
動作を再開する場合⇒ドリッパーを本体に戻してください。
動作を再開しない場合⇒電源をOFFにしてください。
- 室温、湿度、コーヒー豆の種類や状態によって、挽いたコーヒー豆が飛び散ったり本体に付着する場合があります。その場合はキッチンペーパーなどでふき取ります。



- 5 **挽き終わったら**
本体からドリッパーとガラスサーバーを取り出し、ハンドドリップしてください。

■ メンテナンスモード

メンテナンスモードとはお手入れのお手伝い機能です。

お知らせ

水タンク内がカルキなどで白く汚れた場合はクエン酸洗浄をしてください。

ドレイン

水タンクの水を全て排水します。

- ・水を必要以上に入れた場合
- ・途中で動作を停止して水が残った場合
- ・水タンクをクエン酸洗浄する場合

DRAIN

クリーン

お湯を沸します。
水タンクをクエン酸洗浄するときを使用します。

CLEAN

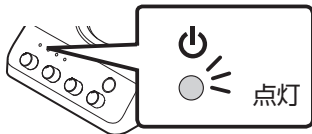
OPEN

オープン

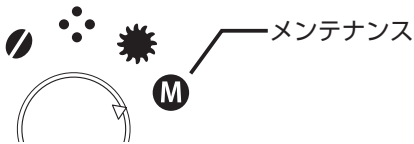
シャッターを開けます。
ミル固定部のコーヒー粉を清掃するときを使用します。

1 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをONにします。

電源LEDが点灯します。



2 メニューダイヤルで、メンテナンスを選択します。



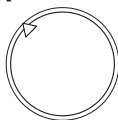
3 メンテナンスを操作します。

■ 水タンクの水を排水する場合

<ドレイン>

- 1 メンテナンスダイヤルで、ドレインを選択します。

DRAIN



- 2 スタート/ストップボタンを押します。

"ピッ"と音が鳴り、抽出LEDが白く点滅し、排水を開始します。

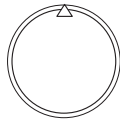


- 3 排水が完了すると、"ピピッ"と音が鳴り抽出LEDが消灯します。

■ 水タンクをクエン酸洗浄する場合 <クリーン>

- 1 メンテナンスダイヤルで、クリーンを選択します。
- 2 水タンクふたボタンを押しながら、水タンクふたを上引き抜いてはずします。
- 3 ガラスサーバーで3CUP分の水を計量して、水タンクに入れます。
- 4 ガラスサーバーにサーバーふたとドリッパーをセットし、本体に差し込みます。
ペーパーフィルターは不要です。
- 5 小さじ1杯(約5g)のクエン酸を水タンクに入れ、はしなどでよく混ぜ、水タンクふたを上から押してしっかりとセットします。

CLEAN



● 小さじ1杯(約5g)のクエン酸を準備

- 6 スタート/ストップボタンを押します。
"ピッ"と音が鳴り、保温LEDが白く点滅し、湯沸しを開始します。
- 7 湯沸し(約90°C)が完了すると、"ピピッ"と音が鳴り、保温LEDが消灯します。
汚れがひどいときは、電源スイッチをOFFにし、このまま、約12時間放置してください。



<ドレイン>

ドレインの①～③の操作手順で排水します。
排水後は、クエン酸のにおいを取るため、水道水だけで①～③を3～4回繰り返します。

■ 本体のミル固定部のお手入れをする場合

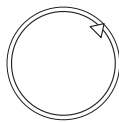
● お手持ちの皿を準備

シャッターからコーヒー粉が落ちます。
保温板の上に散らばらないように、お手持ちの皿を保温板の上に置いてください。

<オープン>

- 1 メンテナンスダイヤルで、オープンを選択します。
- 2 本体にミルをセットします。

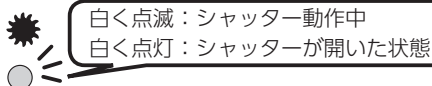
OPEN



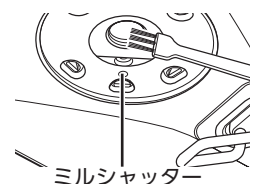
お知らせ 安全のため、本体にミルをセットしないとシャッターが動きません。

■ミルLEDが赤く点滅したら
本体にミルをしっかりとセットしてください。

- 3 スタート/ストップボタンを押します。
"ピッ"と音が鳴り、ミルLEDが白く点滅し、シャッターが開きます。シャッターが開くとミルLEDの点滅が停止し、点灯に変わります。



- 4 ミル着脱ボタンを押しながら上に引き抜き、本体からミルをはずします。
- 5 お手入れブラシで、本体のミル固定部の粉をシャッターの穴から下に落としてください。
- 6 お手入れ後、本体にミルをセットします。
- 7 ミルLEDが消灯し、シャッターが閉じます。



ミルシャッター

- 4 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

お知らせ 動作中にスタート/ストップボタンを押すと動作を取り消して停止します。

こんなときは

修理・サービスをお申しつけになる前に下記の点をお調べください。

こんなときは？	調べるところ	処 置
電源スイッチをONにしても電源LEDが点灯しない	電源プラグがコンセントに差し込んでありますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
LEDのお知らせ① 抽出LED：緑点滅	ドリッパーとガラスサーバーを本体にセットしていますか？	ドリッパーとガラスサーバーを本体にセットしてください。
LEDのお知らせ② ミルLED：赤点滅	ミルを本体にセットしていますか？	ミルを本体にセットしてください。
LEDのお知らせ③ 保温LED：オレンジ点滅	水タンクに水が入っていますか？	電源スイッチを一度OFFにし、再度ONにして、水タンクに水を入れてください。
LEDのお知らせ④ 3つのLEDがすべて点滅 ・ミルLED：赤点滅 ・抽出LED：緑点滅 ・保温LED：オレンジ点滅	<ul style="list-style-type: none"> シャッターの穴がコーヒー粉で詰まっていますか？ ミル内部にコーヒー豆や異物、粉が詰まっていますか？ 	電源スイッチを一度OFFにし、再度ONにして、もう一度スタートしてください。 同じエラーが出た場合 <ul style="list-style-type: none"> 本体のミル固定部とミルのお手入れをしてください。→11・12・14ページ ミル動作（10ページ）させながら、ミルダイヤルを粗挽きに合わせ、コーヒー豆を挽く音がしなくなるまで動作させてください。その後、細挽きにしたい場合はミルを動作させながらミルダイヤルをゆっくり細挽きに合わせてください。
	生豆を入れていませんか？	生豆は挽くことができません。電源スイッチを一度OFFにし、ミルを本体からはずして、生豆を取り除いてください。
<ul style="list-style-type: none"> ミルダイヤルが回らない ミルが本体からはずせない 	<ul style="list-style-type: none"> コーヒー豆が挽き終わる前にミルを停止させていませんか？ コーヒー豆を入れすぎて、ミルにコーヒー豆が残っていませんか？ 	ミルを動作（10ページ）させて、ミル内部のコーヒー豆を挽ききってから、ミルを本体からはずしてお手入れをしてください。→14ページ
コーヒー豆が挽けない	コーヒー豆が極端に浅煎りだったり、大きくありませんか？	ミルダイヤルを粗挽きに合わせてください。
コーヒー豆がミルに残る	コーヒー豆を入れ過ぎていませんか？	計量カップの3CUP目盛りを超える豆をミルに入れないでください。
細挽きにしても、豆が粗い	ミルカバーとミル本体は隙間なくしっかり閉まっていますか？	ミルをお手入れしてください。お手入れ後は、ミルカバーとミル本体との間に隙間がないようにしっかり回して閉めてください。→14ページ
水タンクに水が多く残る (微量の水が残るのは異常ではありません)	金属フィルターに異物が付着していませんか？	金属フィルターと水タンク内のお手入れをしてください。→15ページ
コーヒーの味が異常に薄い、濃い	コーヒー豆/粉と水の量は合っていますか？	カップ数に応じたコーヒー豆/粉と水を入れてください。
コーヒーの抽出量が少ない	ガラスサーバーの水量目盛りは水タンクに入れる水量目盛りです。抽出時、コーヒー粉の吸水によりコーヒーの抽出量はガラスサーバーの水量目盛りよりも少なくなります。	
水タンクのステンレス底に焦げたような模様ができた	内蔵のヒーターに沿ってできるもので、腐食や汚れなどの異常ではありません。	
上記のLEDのお知らせ①～④以外でいずれかのLEDが、赤、緑、オレンジで点滅または点灯	お買い上げの販売店またはお客様サービス係にお問い合わせください。	

お手入れのしかた

必ず電源プラグをコンセントから抜いてお手入れしてください。

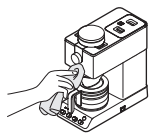
警告 本体を水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電の恐れがあります。

注意 お手入れは使用後、30分以上放置し本体が冷めてから行う。
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

お願い みがき粉やたわし、ベンジン・アルコール・シンナー、化学ぞうきん、住宅用・住宅家具用合成洗剤、カビ取り用洗剤などは使わないでください。故障や変形の原因になります。

■ 本体

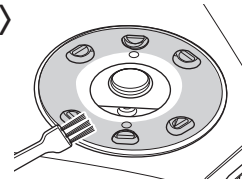
〈外観部〉



台所用中性洗剤を浸した布を固くしぼってふき、洗剤が残らないように乾いた布でふきとってください。

〈ドリップシャワー部〉

お手入れブラシでコーヒー粉を落としてください。



〈ミル固定部〉 本体のミル固定部に付着した粉をきれいにする場合

11・12ページのメンテナンスモードの操作手順でお手入れしてください。

〈水タンク〉 水タンクが汚れた場合

11・12ページのメンテナンスモードの操作手順でお手入れしてください。

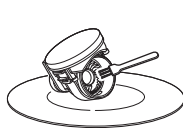
■ ミル

- ① ミル着脱ボタンを押しながら上に引き抜き、本体からミルをはずします。
- ② ミルカバーを回して、ミルを開けます。お手入れブラシでミル内部の粉を落としてください。

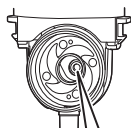
注意 ミルのねじをはずしての分解・清掃はしない。
ミル破損の恐れがあります。



ミルカバー



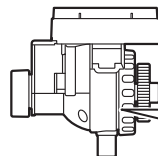
中央の凹部は竹串などで粉を落としてください。



ミルカバーの内側の粉も落としてください。

- ③ お手入れ後、ミルカバーを閉めてください。

お願い



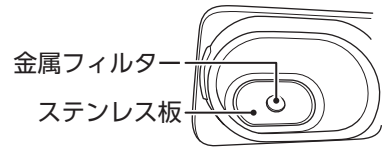
ミルカバーはミル本体との間に隙間がないようにしっかり回して閉めてください。

■ お手入れブラシ

乾いた布でふいてください。

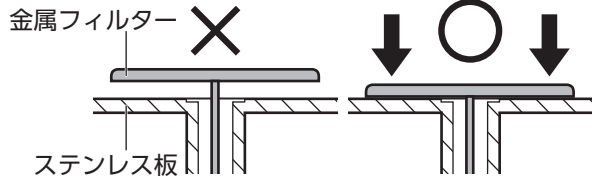
■ 金属フィルター

コーヒー粉などの異物が金属フィルターや水タンク内に付着した場合は濡らしたキッチンペーパーなどでふき取ってください。



▲注意

金属フィルターは外さない。
ご使用になる前に金属フィルターをしっかりと押し込み、ステンレス板に密着しているかご確認ください。

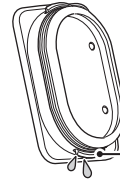


■ ガラスサーバー・サーバーふた・ドリッパー・計量カップ・水タンクふた



台所用中性洗剤を入れた水またはぬるま湯で軟らかいスポンジなどで洗い、洗剤成分が残らないようによくすすいでください。

- 食器洗い乾燥機や食器乾燥機を使わないでください。変形、割れの原因になります。



水タンクふたはフック部の穴から水を抜いてください

■ アフターパーツについて

アフターパーツのお求めは、「お客様サービス係」までお問い合わせください。

製品番号	製品名	
197763	ミル (ミルふた含まず)	
197780	ドリッパー	
197781	サーバーふた	
198560	ガラスサーバー (サーバーふた含まず)	
197771	ミルふた	
197773	計量カップ	
794283	お手入れブラシ	
773402	金属フィルター	
197758	水タンクふたパッキン	

お客様サービス係

(フリーダイヤル) 0120-337-455

FAX (0256) 93-1077

お電話承り時間：

平日 (月曜～金曜) 午前9時～午後5時

〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

オンラインでも別売品・消耗品のご注文を承っております。

http://www.twinbird.jp/c/afterparts_top.php

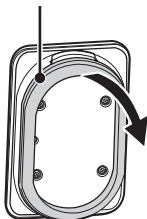


水タンクふたパッキン取り替えかた

<取りはずしかた>

水タンクふたパッキンをはずします。

水タンクふたパッキン

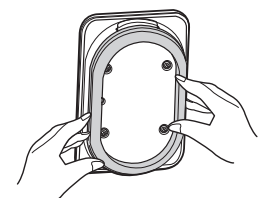
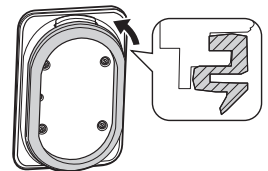


水タンクふたからははずす

<取付けかた>





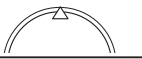
① 水タンクふたに水タンクふたパッキンをはめ込みます。

② 水タンクふたパッキンは、外周がまんべんなく均等になるように押さえて、水タンクふたの外周と水タンクふたパッキンの内側の溝をぴったりと密着させてください。



簡単操作ガイド

すぐコーヒーをいれる／豆を挽く

	豆から	粉から	ミルのみ
コーヒーをいれる／ コーヒー豆を挽く (ミルのみ動作) 準備手順	カップ数に応じた水を水タンクに入れます。		
	ペーパーフィルターをセットしたドリッパーをガラスサーバーにセットします。		
	カップ数に応じたコーヒー豆を計量カップではかります。	カップ数に応じたコーヒー粉を計量カップではかります。	カップ数に応じたコーヒー豆を計量カップではかります。
	ミルふたを開けてコーヒー豆をミルに入れます。	コーヒー粉をペーパーフィルターに入れます。	ミルふたを開けてコーヒー豆をミルに入れます。
	ドリッパーとガラスサーバーを本体にセットします。		
コーヒーをいれる／ コーヒー豆を挽く (ミルのみ動作) 操作手順	電源プラグをコンセントに差し込みます。		
	電源スイッチを入れます。		
	メニューダイヤルを豆からに合わせます。 	メニューダイヤルを粉からに合わせます。 	メニューダイヤルをミルに合わせます。 
	ミルダイヤルを回してお好みの挽き目に合わせます。		ミルダイヤルを回してお好みの挽き目に合わせます。
	抽出温度ダイヤルをお好みの温度に合わせます。 83 90 		
	蒸らし湯量ダイヤルをカップ数に応じて合わせます。 ×1 ×2 ×3 		
	スタート/ストップボタンを押して動作を開始します。(ピッという音が鳴ります)		
	抽出後、保温 LED が白く点灯しピピッという音で出来上がりをお知らせします。		5 分後、自動停止します。
	コーヒーカップに注ぎ、スタート/ストップボタンを押して保温を切ります。 ※保温は 20 分後に自動的に OFF になり、保温 LED が消灯します。		ドリッパーとガラスサーバーを取り出し、そのままハンドドリップしてください。
	ご使用後	ガラスサーバー、サーバーふた、ドリッパーを洗い十分乾かしてください。	

アフターサービス

1. 保証書

裏表紙に添付しています。

保証書は「お買い上げ日」と「販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

なお、保証書期間中でも有料修理になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3. 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、直らないときは電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

● 保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理します。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店か「お客様サービス係」までお申し出ください。

● 保証期間がすぎている修理

修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店か「お客様サービス係」にご相談ください。

4. 補修用性能部品の最低保有期間

この全自動コーヒーマーカーの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後、5年です。

補修用性能部品とはその商品の機能を維持するために必要な部品です。

5. アフターサービスについてご不明の場合

「お客様サービス係」にお問い合わせください。

〈修理料金のしくみ〉

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した商品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

〈修理部品について〉

修理部品は、部品共通化のため、一部予告なしに仕様や色を変更することがあります。

お客様サービス係

 (フリーダイヤル) 0120 - 337 - 455

FAX (0256) 93 - 1077

お電話承り時間：平日（月曜～金曜）午前9時～午後5時

〒959 - 0292 新潟県燕市吉田西太田2084 - 2




警告

お客様ご自身の修理は大変危険です。

絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

電源	AC100V 50 - 60Hz				
製品寸法 (約)	幅 160 × 奥行 335 × 高さ 360mm				
製品質量 (約)	4.1kg				
電源コード長 (約)	1.4m				
コーヒーマーカー (製品全体)	定格消費電力	610W	コーヒルのみ コーヒーマル	消費電力	40W
	定格容量	450ml (3 カップ)		定格容量	36g
	温度ヒューズ	保温ヒーター用：167℃ 2個		定格時間	5分
ガラス容器	品名	耐熱ガラス製器具			
	使用区分	コーヒーマーカー用			
	耐熱温度差	120℃			

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

★長年ご使用の全自動コーヒーマーカーの点検を！	
 <p>愛情点検</p> <p>ご使用の際このようなことはありませんか。</p>	<p>●本体が異常に熱い。●電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。●電源コードに傷が付いていたり、触れると通電しなかったりする。●こげくさい臭いがする。●ガラスサーバーのハンドルがぐらつく●その他の異常・故障がある。</p>
▶	<p>ご使用中</p> <p>故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず製造元にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは製造元にご相談ください。</p>

全自動コーヒーメーカー 保証書

形名	CM-D457	※お買い上げ日		保証期間	※印欄にご記入のない場合有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合には、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は、再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
		年	月	日	
※お客様	※お住所	〒 ☎			様方
	フリガナ ※ご芳名				様
※販売店	住所 店名	〒 ☎			

本書は、保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にしたがって正しいご使用のもとで故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間内に故障が発生したときは、本書と製品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

- (1) 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障及び損傷。
- (2) お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障および損傷。
- (3) 火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）で生じた故障および損傷。
- (4) 本書のご提示がない場合。
- (5) 本書に、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
- (6) 一般家庭用以外（たとえば業務用など）にご使用の場合の故障および損傷。
- (7) ご使用によるキズ、変色、汚れ、および保管上の不備による損傷。
- (8) 消耗部品の交換。

2. 出張修理をご依頼の場合は、出張に要する実費を申し受けます。

3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

4. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

5. ご贈答品などで、本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、「お客様サービス係」へ、ご相談ください。

修理メモ

●お客様にご記入いただいた保証書（個人情報）は、修理・サービスに利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

●この保証書は、本書によって明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「お客様サービス係」に、お問い合わせください。

TWINBIRD 株式会社ツインバード

〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

修理サービスに関するお問い合わせ「お客様サービス係」

☎（フリーダイヤル）0120-337-455 FAX (0256) 93-1077

お電話承り時間：平日（月曜～金曜）午前9時～午後5時

ホームページアドレス <http://www.twinbird.jp>